

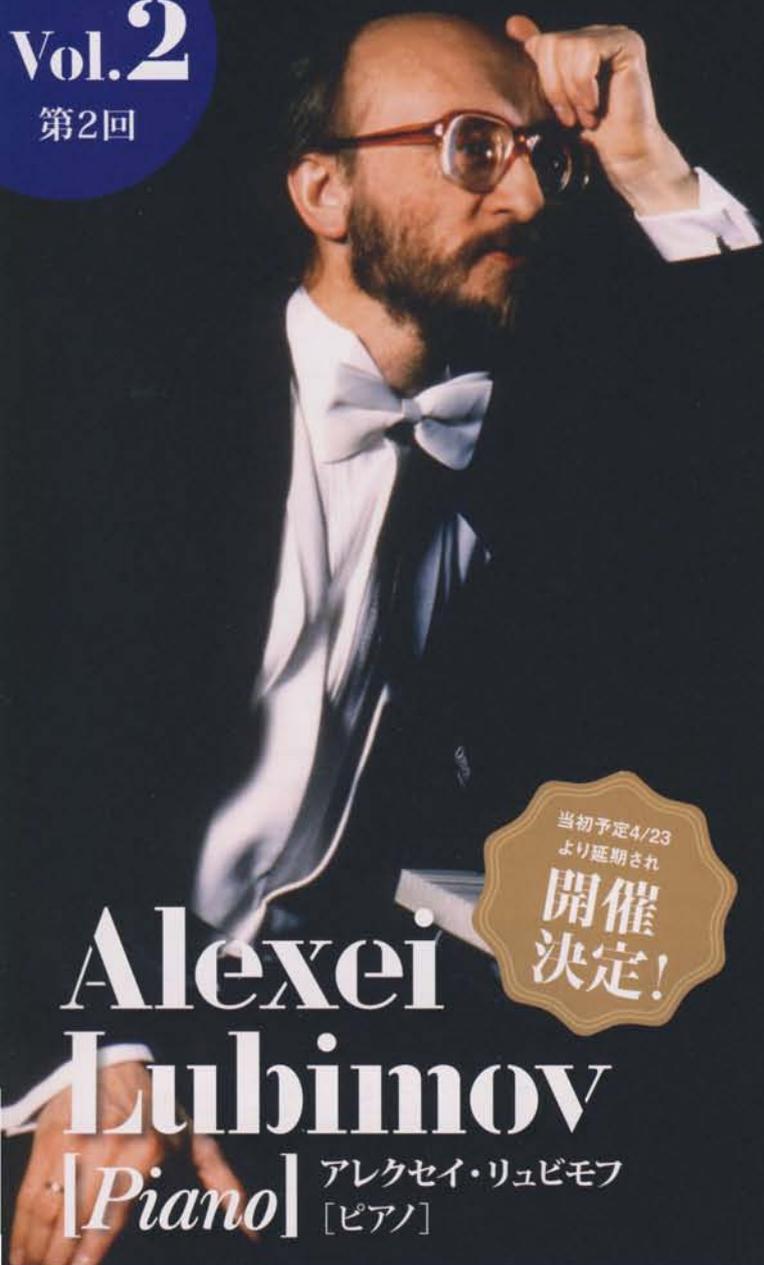
Sumida Triphony Hall Presents

《ロシア・ピアノの継承者たち》 Heirs of Russian pianism

現代の継承者たちの新たなる響きに
ロシア・ピアノの血脈
その偉大な精神の系譜を聴く

Vol.2

第2回



Alexei Lubimov

[Piano] アレクセイ・リュビモフ
[ピアノ]

当初予定4/23
より延期され

開催
決定!

すさまじい超絶技巧ときわだった感覚が比類ない美的世界を作り出す。
伝説のピアニスト、ゲンリヒ・ネイガウス最後の弟子であり、
現代のロシア・ピアニストきっての鬼才。

2011. 12. 8 [木] 19:00開演
(18:50開場)

《オール・シューベルト・プログラム》 前売開始:5月29日(日)

シューベルト: さすらい人幻想曲 ハ長調 D760

即興曲集 D899 (第1曲 ハ短調 / 第2曲 変ホ長調 / 第3曲 変ト長調 / 第4曲 変イ長調)

即興曲集 D935 (第1曲 ヘ短調 / 第2曲 変イ長調 / 第3曲 変ロ長調 / 第4曲 ヘ短調)

料金 ●S¥5,000 / A¥4,000 (トリフォニークラブ会員は各10%引き、同時入会申込可)

《ロシア・ピアノの継承者たち》

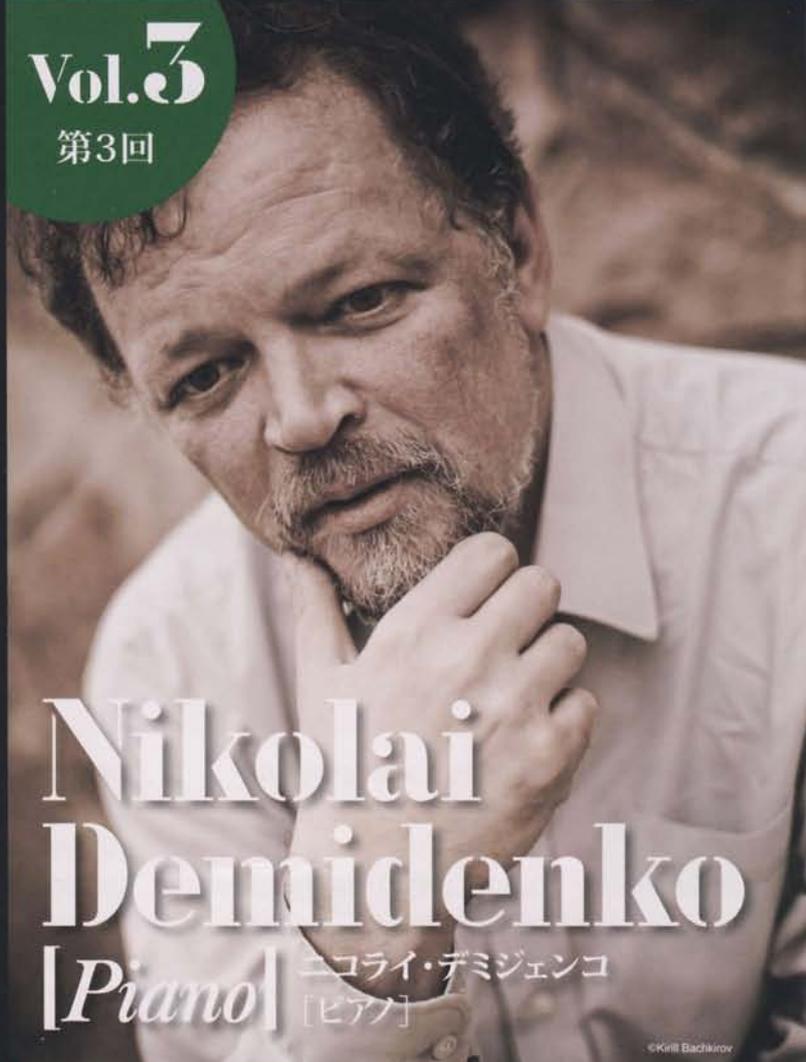
公式twitter!



STHRussianPiano

Vol.3

第3回



Nikolai Demidenko

[Piano] ニコライ・デミジェンコ
[ピアノ]

©Kiri Backkov

ロシア・ピアノの主流を行く抒情的演奏を具現化する、
卓越した技巧美の極致。一大潮流である名教師
アレクサンドル・ゴリデンヴェイゼルの流れを継承する名匠。

第1日 [リサイタル] 2011. 6. 4 [土] 18:00開演
(17:50開場)

シューマン: ウィーンの謝肉祭の道化 op.26、謝肉祭 op.9

リスト: ピアノ・ソナタ 短調 S.178、伝説 S.175

料金 ●S¥5,000 / A¥4,000 (トリフォニークラブ会員は各10%引き、同時入会申込可)

第2日 [協奏曲] 2011. 6. 5 [日] 15:00開演
(14:50開場)

ショパン: ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 op.11

ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 op.18

ヴァシリス・クリストプロス [指揮] Vassilis Christopoulos

新日本フィルハーモニー交響楽団 New Japan Philharmonic

料金 ●S¥6,000 / A¥5,000

(トリフォニークラブ会員は各10%引き、同時入会申込可)



Vassilis Christopoulos

デミジェンコ2公演セット券 ●S¥9,900 / A¥8,100

(トリフォニークラブ会員はS¥8,800 A¥7,200 同時入会申込可)

上記公演チケットご購入者限定、特別ライブへご招待! ※詳細は裏面をご覧ください。

ご予約・お問合せ ●トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212

トリフォニーホールチケットオンライン <http://www.triphony.com>

すみだトリフォニーホール

ロシア・ピアノの継承者、リュビモフとデミジェンコに期待する

私がこれまで聴いたピアノ・リサイタルの中でも、最も記憶に残る鮮烈な体験のひとつが、1990年代の終わり頃、リュビモフが都内のある小さなホールで行った「ウストヴォルスカヤの夕べ」であった。ロシアの未知の前衛女性作曲家がテーマだったので無理もないが、聴衆は、ホールが小さく、曲目も全く未知の作品ばかりだったこともあって、ごく限られた人数だった。しかしあのときのリュビモフのピアノはすさまじい迫力だった。絶望と憤怒の音塊を執拗に叩き続けるような異様な楽曲ばかりが並ぶあのようなプログラムを、リュビモフは、全く聴き手を飽きさせることなく、すさまじい集中力で、実に音楽的に弾いてのけたのである。指を細かく動かさなくとも拳骨だけであれだけ聴き手を感動させられるというのは、並大抵の音楽性ではない。あまりにも拳骨和音(?)が素晴らしいので、本当にリュビモフの指は動くのだろうかといらぬ想像までしてしまったほどである。ところが、アンコールでさらに仰天させられた。モノクロームな前衛世界から転じて、ドビュッシーの「ピアノのために」から「前奏曲」をリュビモフは弾いたのだが、無限にニュアンス豊かな打鍵、刻々と変化する柔らかい色彩、そしてあたかも即興のように絶妙な間合いを持って鳴らされた最後のアルベジヨと和音に衝撃を受けた。真のドビュッシーをこのとき初めて聴いた、とすら思った。リュビモフの音楽的テリトリーの驚くべき広大さが、あのアンコールには凝縮されていた。

あのリュビモフが再び都内でリサイタルを開くとすれば、これはどんなことがあっても駆けつけなければならない。しかもシューベルトである。リュビモフの音楽的真価は、おそらくライブでこそ発揮される。一筋縄ではいかない特別な一夜となるはずだ。

リュビモフに続くロシア・ピアノの第3弾は、近年日本でもうなぎのぼりに評価の高まっているニコライ・デミジェンコ。ONYXレーベルのショパン「24の前奏曲」「ピアノ・ソナタ第3番」は、近年の若手の華麗でスピーディなピアノに慣れている聴き手には、大きなショックを与える1枚である。

デミジェンコのショパンは決して陽性ではない。暗く、深く、大きい。孤独の匂いがする。一見きらびやかなパッセージでも、デミジェンコは実にゆったりと豊かな音色でレガートに弾く。外面的効果には少々欠けるが、物思いに沈みがちなショパンの深い吐息が感じられるのだ。白熱をつい期待するソナタ第3番の第4楽章でも、これほど、立ち止まりつ考えつというショパンの「ナイーブさ」や「ためらい」に配慮した演奏も珍しい。

出版譜の強弱記号とは異なる演奏箇所も多いが、それはむしろ音楽の内容への洞察を感じさせる。こうした演奏はおそらく、音楽大学やコンクールでは決して歓迎されないだろうが、聴き手を作品そのものについてより考えさせる、含蓄に富んだ音楽なのだ。

今回デミジェンコはシューマンとリストのリサイタル・プロ、そしてショパン1番とラフマニノフ2番の協奏曲プロを演奏する。このピアニストの個性を体験する上でも絶好のプログラムだ。華麗でピチピチとした若手も良いが、年輪を重ねた真に内面的な表現、そしてたっぷりとした濃い音を期待するなら、デミジェンコは聴き逃さない。

林田直樹

(はやしだなおき/音楽ジャーナリスト)

料金	[6/4 デミジェンコ・リサイタル]	S¥5,000/A¥4,000
	[6/5 デミジェンコ・協奏曲]	S¥6,000/A¥5,000
	>>>>>>デミジェンコ2公演セット券:	S¥9,900/A¥8,100
	[12/8 リュビモフ] 前売開始:5月29日(日)	S¥5,000/A¥4,000

(トリフォニークラブ会員は1回券:各10%引き、デミジェンコ2公演セット券:S¥8,800/A¥7,200 ともに同時入会申込可)

- 前売り: e+ (イープラス) <http://eplus.jp>
 チケットぴあ 0570-02-9999
 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650
 新日本フィル・チケットボックス (6/5のみ) 03-5610-3815



ご予約・お問合せ: トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212
 トリフォニーホールチケットオンライン <http://www.triphony.com>

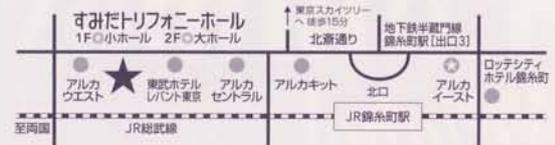
- 主催・企画: すみだトリフォニーホール
- 招聘制作: 藍インターナショナル
- 協力: マーキュリー/東京エムプラス

※都合により公演内容の一部が変更となる場合がございます。
 ※未就学児のご入場はご遠慮下さい。



トリフォニーホールの託児サービス ご予約・お問合せ: 0120-500-315

(株)小学館集英社プロダクション 総合保育サービスのHAS (ハズ)
 ●受付時間: 月~金(祝日除く) 10:00~17:00 ★ご利用1週間前までに
 ●料金: 生後6ヶ月~1歳: ¥3,000/2歳以上: ¥2,000 ご予約ください。



すみだトリフォニーホール

アレクセイ・リュビモフ
[フォルテピアノ]
 シューベルト即興曲全集
 マーキュリー ZYT-100102 (日本語解説付)
 ¥2,940 (2009年7月録音)

ニコライ・デミジェンコ
プレイズ・ショパン
 ショパン: 24の前奏曲 ピアノ・ソナタ第3番
 東京エムプラス ONYX4036
 オープン価格 (2008年7月録音)

リュビモフ or デミジェンコ
 チケットご購入者限定200名様ご紹介!

Alexei Lubimov
Premium Live

《ロシア・ピアノの継承者たち》特別企画
アレクセイ・リュビモフ プレミアム・ライブ “ロシア・アヴァンギャルド”

リュビモフと同じ舞台上、
 痛みすら感じるその距離で。
 プレミアムでシークレット感満載なライブ、開催決定!
 リュビモフと作品たちのすさまじさを、あなたの全身で感じてください。

2011年12月6日(火) 19:30開演
 すみだトリフォニーホール
 大ホール・ステージ上 [特設鑑賞席]

ヴァレンティン・シルヴェストロフ (1937~): 悲歌 (1967)
 アレクサンドル・スクリャーピン (1872~1915): ピアノ・ソナタ第9番「黒ミサ」(1914)
 アルヴォ・ペルト (1935~): ノルヴェーグ第2番 (1956)
 ガリナ・ウストヴォルスカヤ (1913~2006): ピアノ・ソナタ第5番 (1986) ほか
 ※公演時間は約1時間程度を予定

応募資格 [6/4,6/5デミジェンコ] または [12/8アレクセイ・リュビモフ] のいずれかの公演チケットご購入の方

応募方法 住所、氏名、年齢、電話番号、購入公演名と座席番号、このシリーズでお聴きになりたいアーティストや作品などの一言をご記入の上、
 メール ● oubo@triphony.com または、
 往復はがき ● 〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-2-3 「ロシア・アヴァンギャルド」係宛 にご応募ください

応募締切: 11月15日(火) [必着]
 お問合せ: トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212
 ※ご応募は1名様につき1通のみ有効。※1通につき1名様のご招待となります。